

## 夏旅の3つの壁は「暑い・混む・高い」？

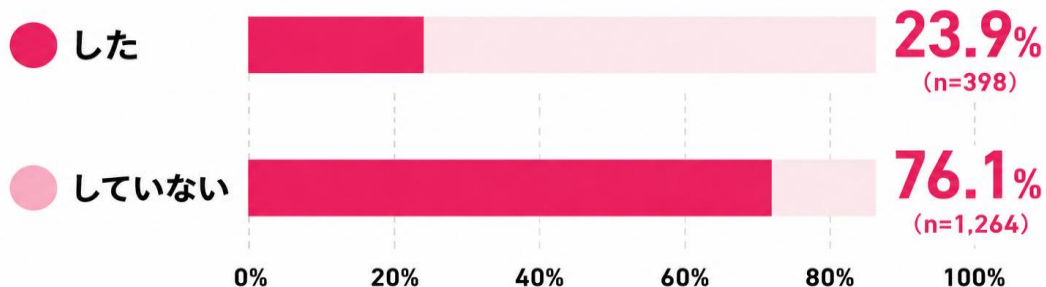
### 4人に1人が暑さで夏旅を変更、高速バス利用経験者1,662人に聞いた旅行動向調査

～交通費、53.1%が「払いたい額」より「実際にかかる額」のほうが高いと認識。

暑さで夏旅を変更した人の54.0%が、交通費割引があれば「ぜひ旅行したい」～

WILLER MARKETING 株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：辻本 宗男、以下「WILLER MARKETING」）は、2024年以降に予約サイト「WILLER TRAVEL」にて高速バスを予約・利用した経験のある全国の男女1,662人を対象に、「夏・秋の旅行動向と移動手段」に関するアンケート調査を実施しました。

#### この夏（7～8月）、暑さを理由に旅行を取りやめた、 もしくは暑さを理由に旅行の時期を秋以降へ変更しましたか？



「した」と回答した人は **約4人に1人 (23.9%)**

n=1,662

近年、夏の厳しい暑さや物価高など、旅行を取り巻く環境が変化しています。今回の調査では、23.9%（398人）が、今年の夏（7～8月）に暑さを理由に旅行を取りやめた、もしくは旅行の時期を秋以降へ変更したと回答しました。

また、夏休み期間（7～8月）と秋（9～11月）を比較すると、75.3%（1,250人）が「秋のほうが旅行に行きやすい」と回答。その理由として、「暑さが和らぐ」「混雑が少ない」「費用が安くなる」が上位となり、「暑い・混む・高い」が夏旅の3つの壁となっていることがうかがえました。

一方、暑さを理由に旅行を変更した人は、旅行を取りやめるだけでなく、物価高に対しても「旅の仕

方」を工夫しています。暑さで旅行を変更した人の36.7%（146人）が「移動手段を安いものに変えた」と回答し、変更していない人の28.8%（364人）を7.9ポイント上回りました。また、「早割・格安チケットを活用」は32.7%（130人）、「日程をずらす」は29.4%（117人）となり、それぞれ変更していない人を8.3ポイント、16.1ポイント上回りました。

さらに、旅行にかけたい交通費と実際にかかると思う交通費を比較すると、53.1%（883人）が「実際にかかると思う交通費」のほうが「かけたい交通費」より高いと回答しました。特に、旅行にかけたい交通費を5,001～10,000円と回答した556人では、71.4%（397人）が希望額を上回る交通費を想定していました。

こうした交通費への負担感がある一方、割引があれば旅行したいという意向も明らかになりました。暑さを理由に旅行を取りやめた、もしくは旅行の時期を秋以降へ変更した人では、54.0%（215人）が「ぜひ旅行したい」と回答。「前向きに検討したい」を合わせると、97.7%（389人）が旅行に前向きとなりました。

今回の調査からは、旅行を取りやめたり、時期を変更したりする人がいる一方で、「時期をずらす」「移動手段を変える」「お得なチケットを活用する」など、旅の仕方を工夫していることがわかりました。

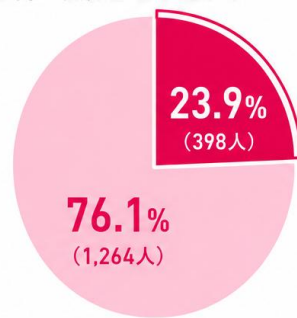
WILLER MARKETING では、今回の調査結果を踏まえ、暑さや物価高の中でも秋の旅行を楽しんでいただけるよう、交通費の負担を軽減するキャンペーンを実施します。

## ■調査結果

### ① 4人に1人が、暑さを理由に夏旅を変更

この夏（7～8月）、暑さを理由に旅行を取りやめた、  
もしくは暑さを理由に旅行の時期を秋以降へ変更しましたか？  
(n=1,662)

**4人に1人が、  
暑さを理由に  
夏旅を変更**

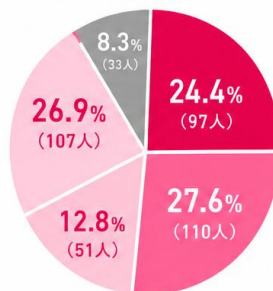


■ した 23.9% (398人)  
■ していない 76.1% (1,264人)

「した」と回答した方 変更した旅行の時期は、いつ頃にスライドしましたか？  
(n=398)

**9月以降へ  
旅行時期を変更した人は**

**64.8%**



■ 9月上旬～中旬（シルバーウィーク含む） 24.4% (97人)  
■ 10月 27.6% (110人)  
■ 11月以降 12.8% (51人)  
■ 時期は決まっていない 26.9% (107人)  
■ 旅行自体を断念した 8.3% (33人)

「この夏（7～8月）、暑さを理由に旅行を取りやめた、もしくは暑さを理由に旅行の時期を秋以降へ変更しましたか？」と聞いたところ、23.9%（398人）が「した」と回答しました。「した」と回答した398人に変更後の旅行時期を聞いたところ、「9月上旬～中旬（シルバーウィーク含む）」が24.4%（97人）、「10月」が27.6%（110人）、「11月以降」が12.8%（51人）となりました。

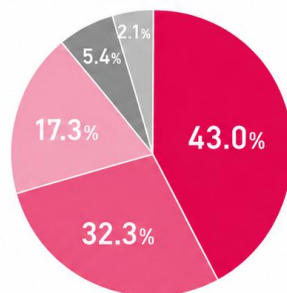
9月以降へ旅行時期を変更した人は合計64.8%（258人）となり、暑さを避けて秋以降へ旅行時期をずらす動きがみられます。

② 75.3%が「秋のほうが旅行に行きやすい」。「暑い・混む・高い」が夏旅の3つの壁に

夏休み期間（7月・8月）と比べて、秋（9月～11月）のほうが暑さや費用などの影響で旅行に行きやすいと感じますか？

(n=1,662)

**75.3%**が  
「秋のほうが行きやすい」。



|             |       |        |
|-------------|-------|--------|
| 感じる         | 43.0% | (714人) |
| どちらかといえば感じる | 32.3% | (536人) |
| どちらともいえない   | 17.3% | (288人) |
| あまり感じない     | 5.4%  | (89人)  |
| 感じない        | 2.1%  | (35人)  |

「感じる」と回答した方 その理由を教えてください。（最大3つ）

(n=714)

「暑い・混む・高い」が  
夏旅の3つの壁に。



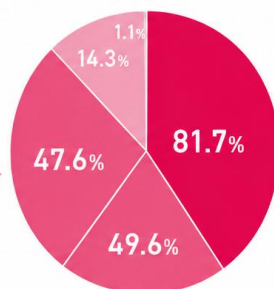
暑い



混む



高い



|            |       |        |
|------------|-------|--------|
| 暑さが和らぐため   | 81.7% | (583人) |
| 混雑が少ないため   | 49.6% | (354人) |
| 費用が安くなるため  | 47.6% | (340人) |
| 休みが取りやすいため | 14.3% | (102人) |
| その他        | 1.1%  | (8人)   |

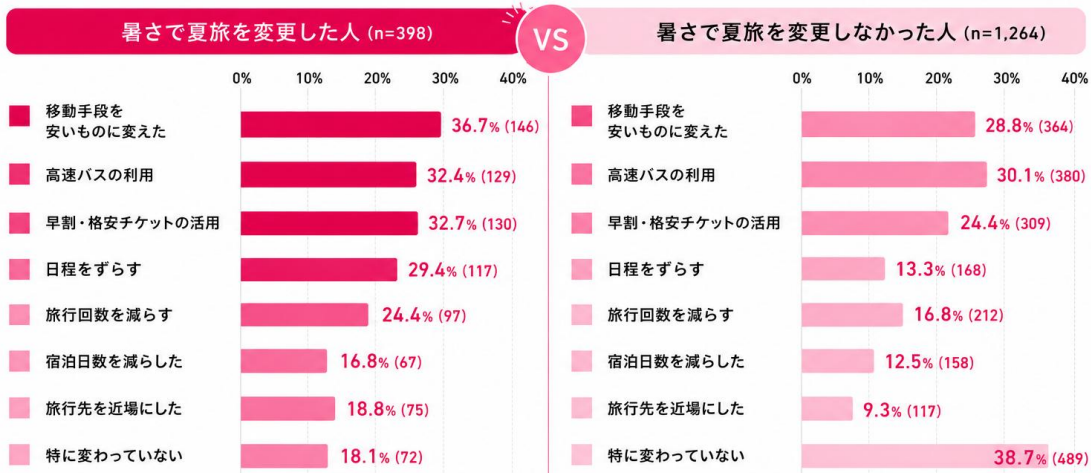
夏休み期間（7～8月）と秋（9～11月）を比較し、秋のほうが旅行に行きやすいと感じるか聞いたところ、「感じる」が43.0%（714人）、「どちらかといえば感じる」が32.3%（536人）となり、合計75.3%（1,250人）に上りました。また、「感じる」と回答した人に理由を聞いたところ、「暑さが和らぐため」が81.7%（583人）で最も多く、次いで「混雑が少ないため」49.6%（354人）、「費用が安くなるため」47.6%（340人）となりました。

この結果から、夏の旅行には「暑さ」だけでなく、「混雑している」「費用がかかる」といった複数のハードルがあることが分かります。「暑い・混む・高い」の3つが、夏に旅行へ出かける際の“3つの壁”となっていることがうかがえます。

③ 暑さで夏旅を変更した人は、物価高に対しても「旅の仕方」を工夫

## 暑さで夏旅を変更した人は、物価高に対しても「旅の仕方」を工夫

暑さを理由に旅行を取りやめた・秋以降へ変更した人 × 物価高による旅行行動



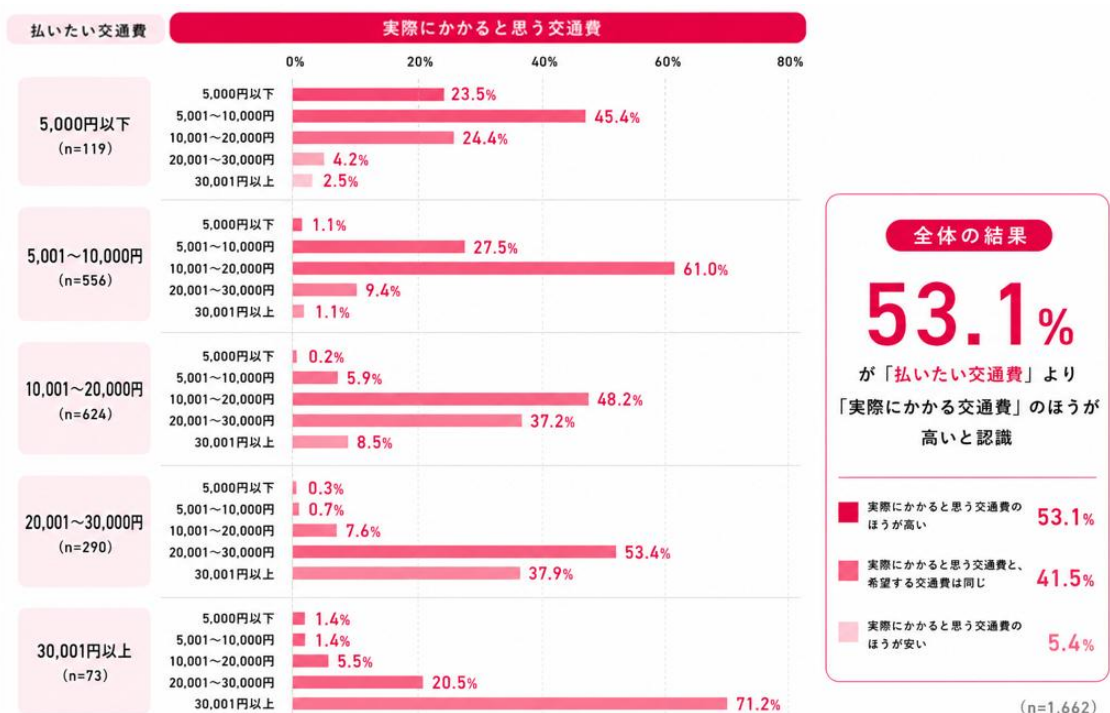
暑さで夏旅を変更した人は、「移動手段の見直し」や「日程の調整」など、物価高への対策として**多様な工夫**をしていることがわかります！

n=1,662

物価高の影響による旅行行動について、暑さを理由に旅行を変更した人と、変更していない人を比較したところ暑さを理由に旅行を変更した398人では、「移動手段を安いものに変えた」が36.7%（146人）となり、暑さを理由に旅行を変更していない1,264人の28.8%（364人）を7.9ポイント上回りました。また、「早割・格安チケットの活用」は、暑さで旅行を変更した人が32.7%（130人）、変更していない人が24.4%（309人）で、8.3ポイントの差となりました。さらに、「日程をずらす」は、暑さで旅行を変更した人が29.4%（117人）、変更していない人が13.3%（168人）で、16.1ポイントの差がありました。このほか、「旅行先を近場にした」は18.8%（75人）対9.3%（117人）、「旅行回数を減らす」は24.4%（97人）対16.8%（212人）となりました。

暑さや物価高といった旅行環境の変化に対し、旅行を取りやめたり、時期を変更したりする人がいる一方で、「日程をずらす」「移動手段を変える」「お得なチケットを活用する」など、旅の仕方を柔軟に変えていることがうかがえます。

④ 53.1%が「払いたい交通費」より「実際にかかる交通費」のほうが高いと認識

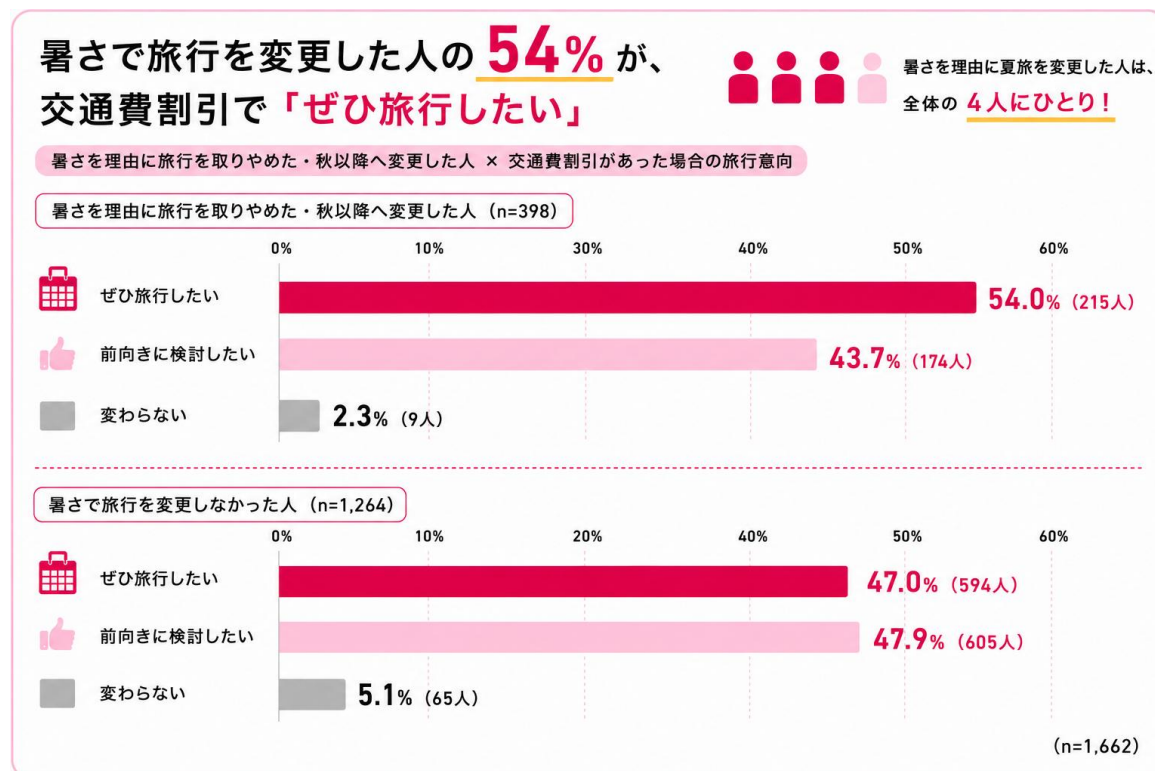


旅行にかけたい交通費（往復）と、実際にかかると思う交通費についてそれぞれ聞き、クロス集計したところ、53.1%（883人）が「実際にかかると思う交通費」が「かけたい交通費」を上回る結果となりました。一方、希望する交通費と実際にかかると思う交通費が同じだった人は41.5%（689人）、実際にかかると思う交通費が希望額を下回った人は5.4%（90人）でした。

特に、旅行にかけたい交通費が「5,001～10,000円」と回答した556人では、71.4%（397人）が希望額を上回る交通費を想定。そのうち、61.0%（339人）が10,001～20,000円、9.4%（52人）が20,001～30,000円、1.1%（6人）が30,001円以上を想定していました。

旅行者にとって交通費は、単に「できれば安くしたい費用」ではなく、旅行を計画する際の一つのハードルとなっていることがうかがえます。

⑤ 暑さで旅行を変更した人の54.0%が、交通費割引で「ぜひ旅行したい」



「もし交通費が割引になるキャンペーンがあれば、旅行への意欲は変わりますか？」と聞いたところ、暑さを理由に旅行を取りやめた、もしくは旅行の時期を秋以降へ変更した398人では、54.0%（215人）が「ぜひ旅行したい」と回答しました。さらに、「前向きに検討したい」が43.7%（174人）となり、合わせて97.7%（389人）が旅行に前向きとなりました。一方、暑さを理由に旅行を変更していない1,264人では、「ぜひ旅行したい」が47.0%（594人）、「前向きに検討したい」が47.9%（605人）でした。

また、「秋のほうが旅行に行きやすい」と「感じる」人では57.0%（407人）が「ぜひ旅行したい」と回答。全体の「ぜひ旅行したい」48.7%（809人）と比べ、8.3ポイント高い結果となりました。

秋の旅行を前向きに考えている人や、暑さを理由に夏の旅行を見送った人にとって、交通費の負担軽減が次の旅行へ踏み出すきっかけの一つになる可能性が示されました。

## ■「夏に行かない」ではなく、「秋に行く」という選択肢

今回の調査から見てきたのは、夏の暑さや物価高によって旅行を取り巻く環境が厳しくなっている一方で、「旅行したい」という気持ちそのものが失われているわけではないということです。

暑さが厳しいなら、時期をずらす。混雑が気になるなら、ピークを避ける。費用が気になるなら、移動手段やチケットを工夫する。旅行の「行く・行かない」の二択ではなく、「いつ行くか」「どう移動す

るか」を変えることで、旅に出る選択肢は広がります。

今回、暑さを理由に旅行を変更した人のうち、64.8%（258人）が9月以降へ旅行時期を変更していました。また、75.3%（1,250人）が秋のほうが旅行に行きやすいと回答しています。

「夏に行けないから、今年は旅行しない」のではなく、「少し時期をずらして、秋に旅をする」。夏の旅行を見送った人にとって、秋は新たな旅行のタイミングになり得ます。

## ■WILLER MARKETING、秋の旅行を応援する割引キャンペーンを実施

暑さを理由に旅行を取りやめた、もしくは旅行の時期を秋以降へ変更した人の54.0%が、交通費の割引があれば「ぜひ旅行したい」と回答しています。

そこで、移動にかかる費用負担を軽減することで、夏の旅行を見送った人が秋の旅へ踏み出すきっかけを提供します。

### <キャンペーン概要>

#### ①WILLER EXPRESS20周年アニバーサリーセール

販売期間：9/7（月）、9/9（水）、9/14（月）、9/16（水）の対象の時間帯

対象出発期間：2026/9/24（木）～10/9（金）

キャンペーンページ：<https://travel.willer.co.jp/wex/20th/>

※キャンペーンの詳細は後日発表します。

#### ②ウィラトラセール

10月に開催予定です。キャンペーン内容は、9月下旬以降に公開予定です。

キャンペーンページ：<https://travel.willer.co.jp/campaign/willtra/>

## ■調査概要

調査名称：「夏・秋の旅行動向と移動手段に関するアンケート」

調査期間：2026年8月13日～8月17日

調査対象：2024年以降に予約サイト「WILLER TRAVEL」にて高速バスを予約・利用した経験のある全国の男女

有効回答数：1,662人

調査方法：インターネット調査

調査主体：WILLER MARKETING 株式会社

※本調査は、WILLER EXPRESSの利用者に限定したものではありません。

※本調査結果は、回答者の構成や回答方法などにより、日本全国の旅行者全体の傾向を示すものではありません。

※複数回答の設問は、回答割合の合計が100%を超える場合があります。